

令和6年度全体事業活動概要

特定非営利活動法人
高度情報通信推進協議会

当協議会は、令和6年度においてもユーザー側の視点に立った高度情報通信分野の施工技術・技能に関する人材育成及び情報提供を行うことを目的として以下の事業を展開して参りました。

I 人材育成・認定事業

(1)技能検定事業

厚生労働大臣指定試験機関として、情報配線施工技能検定試験の公正かつ積極的な運営を行って参りました。令和6年度からは、国からの23歳未満の若年受検者に対し減免措置に加えて、当協議会独自の23歳未満の受検者に学生割引制度を導入し、3級受検者数は第1回6月48名、第2回9月72名、第3回令和7年1月119名となりました。その結果、1級技能士11名、2級技能士29名、3級技能士116名が誕生し、累積5,365名に達しました。

全国の実技試験での採点の統一性確保のため、リモート会議形式で全国の全委員参加による水準調整会議を開催し、全国の技能検定員へ検定試験の改善情報等の提供を行いました。また、2級実技試験の採点基準や方法の改善を実施しました。

(2)INIP 認定事業

今年度は事業効率を図るためにINIP認定事業は引続き休止しました。

II 普及・啓蒙事業

普及・啓蒙事業の一環として、より高度な施工技術に関する技能五輪等関連事業への支援活動を推進しました。これらの事業を通して人材育成ならびに技術の普及に努め施工技術者の社会的地位の向上を目指してまいりました。

(1)第62回技能五輪全国大会への活動支援

令和6年11月22日(金)～11月25日(月)愛知県国際展示場で開催された第62回技能五輪全国大会の運営協力団体として競技用機材・部材の調達・提供及び予選会の開催(24名の選手推薦)などの技能五輪支援活動を積極的に行いました。また、技能五輪全国大会の成績優秀者に対する技能検定1級実技試験免除申請を行い、審査の結果15名に技能証を交付しました。

① 第20回情報通信配線技術フォーラム2024春・夏

情報通信配線技術フォーラム2024春を令和6年4月4日(木)に北陸電気工事(株)技術開発センターに

て第62回技能五輪全国大会予選会を兼ねて開催しました。予選会での成績優秀者7名に技能証を交付しました。また、令和6年6月26日(水)～28日(金)に東京ビッグサイトで第20回目の情報通信配線技術フォーラム2024夏をCOMNEXT2024と共催で開催し、学生日本一決定戦2024、再生可能エネルギー職種のデモ競技並びに技能五輪全国大会初参加選手による強化訓練競技等を実施しました。

② WSC職種連絡会

技能五輪国際大会事業の更なる向上発展を目指し、当協議会会員の賛助企業からの支援を得ながら本格的に活動しました。

1. 情報配線施工技術標準化に関する活動

技能の国際標準化を目的に、(一社)電子情報技術産業協会に設置されている情報配線システム標準化専門委員会にリエゾン会員として加盟しており、この活動を通じて、ISO/IEC SC25/WG3においてSustainabilityの審議(今年度ISとして発行)、経済産業省政府戦略分野に係る国際標準開発活動「次世代通信技術に対応した情報配線システムの実現に向けた高度なスキル人材の確保に関する国際標準化」(今年度SC25においてNP承認され審議開始)に関する委員会等への参画を通じ、技能五輪に関する技能の国際標準化に取り組んでいきました。

2. 職種連絡会の開催

現場の実態、真に必要なとしている技能、今後必要とされる技能及び日本標準等を勘案し、職種定義に盛り込むべく活動を引続き行いました。技能五輪全国大会の情報共有及び各種議論を目的とした職種連絡会を開催致しました。

3. 同大会代表選手強化訓練支援に関する活動

代表選手の強化訓練課題の作成を行いました。また、国際大会新規参加国等を対象とした訓練支援を実施しました。

4. 同大会参加ノウハウ及び情報の共有・伝達に関する活動

参加企業・エキスパート・選手のノウハウを文書化し一元管理・公開し関係者で共有した。

5. 同大会SCMとの連携・支援に関する活動

SCM活動に関する各種支援(通訳補助、活動補助等)を行った。

③ 第47回技能五輪国際大会への活動支援

第47回技能五輪国際大会(令和6年9月フランス・リヨン)において、選手強化に向けて会員各社のご協力のもと、可能な限りの支援を行ってまいりましたが、残念ながら銅メダル獲得となりました。

また、中央職業能力開発協会からの依頼を受け、第47回技能五輪国際大会情報ネットワーク施工職種、光電子技術、再生可能エネルギー職種の職種別分科会の事務局として国際大会の選手強化等の支

援を行いました。

④ 各表彰制度への推薦

i) 理事長表彰

特別功労者表彰は、3月末理事会及び総会で承認を得ました技能検定事業貢献として大津光夫様、株式会社ソルコム・光原勝彦、コアラ電通・小原貴史様を推薦しました。

ii) 黄綬褒章

令和5年度に卓越した技能者（現代の名工）表彰を受けた株式会社ミライト・ワンの岩井喜照氏は今年5月12日の伝達式及び皇居の拝謁に臨みました。

後に財政的には、当協議会の経営環境は引続き極めて厳しい状況であり、今年度も単年度黒字化目標に向かって運営改善に取り組みました。目標達成には、当協議会事務局のリーダーシップと業務の迅速化等も大きな課題であり、引き続き経費削減と併せて、更なる組織強化を図り、効率的に各委員会等の運営を行いました。広報活動、会員サービス等も提供してまいりますが、その改善・改革には関係各位のご理解とご協力が不可欠でありました。